

RAP 基礎 授業デザイン (第4回) P(problem)の設定と P(Plan)

日 時:5月8日(木)4限

使用教室:1年教室

使用教材:ワークシート、黒ファイル、筆記用具、クロムブック

授業者:副担任、学年付

本時の活動:前回の授業で作った検索ワードから情報探索を行い、フローチャートで深めて「探究テーマ」を立てる

本時の目標:検索ワードで検索を繰り返し、出会った「探究のタネ」から「探究テーマ」を作ろう

本時の展開

	学習活動(発問・活動等)	教師の支援(・)、指導上の留意点(◎)
導入 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の授業の確認 2. 本時の目標と活動の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の授業で作った「検索ワード」を用いて検索をかけ、「自分が気になっていること」の周辺知識を集めることで初めて「探究テーマ」ができあがることをおさえてください
展開 40分	<ol style="list-style-type: none"> 3. フィッシュボーン図をもとに見つけた「検索ワード」で検索を繰り返し、「どうしてうまくいっていないんだろう」「もっと良くするにはどうしたらいいんだろう」を見つける(P 課題設定) 4. 「どうして」「どうしたら」を「どうすればフローチャート」で深める(P 課題設定) <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人でまずは進める ・ 頃合いを見て一度ペアワークを。「本当にこれだけで解決できると思う?」とペアに質問しあうことで「タテ」を広げる 5. フローチャートから「探究テーマ」を抜き出し、またそれを調べたいと思った「研究動機」を自分で考え、ワークシートに記入する。テーマはフォームでも入力し、提出する。(P 課題設定 P 計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことは「ブックマークシート」(前回提示)にどんどん残させてください ◎ 前回「自分の分を復習としてやってみて」と伝えてはいますが、机間支援してやってください ・ 1マス目は必ず「否定形」ではじめさせてください。 ・ ヨコ3マス目以降タテ2マス以上で手が止まる場所まで進めさせてください。このチャートの止まった場所が各々の「探究テーマ」につながります。 ◎ 手が止まると検索したがると思われるが、「検索したい=今分らないこと」は「テーマ」になりやすいので、検索するとテーマが出にくくなる恐れが。例のように「?」で進めてもよいと助言してください ・ フローチャートの「解決策」のうち、一番興味の持てるものを「問い」の形に変換して「テーマ」にします。「動機」は自由に書かせてください。 ◎ ポスターでは「データの読み取りとその結果」をまとめる必要があるため、「データの出やすいテーマ」であるかを留意させてください。 ・ フォームはRAP基礎のクラスルームより。生徒の「テーマ」に合わせて、データ収集の目安になりそうなHPを次回提示する予定です。
まとめ 5分	<ol style="list-style-type: none"> 6. RAP基礎の予定と照らし合わせ、探究計画を確認する(P 計画) 7. 次回はD(データ収集)とA(分析)について扱うことを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「本来は自分で計画を立てるもの」ということに留意させたいので、「今回は授業計画に沿って次回・次々回・次々次回と進行すること」を抑えてください ・ 次回は5月22日(木)です